

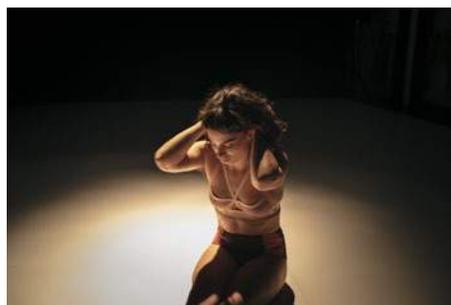
# Kiseki キセキ Trajectories

日本、イタリア、フランスから多彩な才能を持つ  
注目すべき3人の振付家が集結  
ここから新たなダンスのキセキが始まる



Satchie Noro [France]

photo: Johnny Stephens



Giorgia Nardin [Italy]

photo: Alice Brazziti



Teita Iwabuchi [Japan]

photo: GO

「Kiseki - キセキ - Trajectories」はセゾン文化財団とイタリアのコムネ・ディ・バッサーノ・デル・グラッパ、フランスのラ・ブリケトリー・ヴァル・ド・マルヌ国立振付開発センターが提携するダンス交流事業です。

2018年2月、イタリアから振付家・ダンサーのジョルジャ・ナルディン、フランスからサチエ・ノロが来日し、日本の岩淵貞太とともにリサーチや創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンスを実施します。

2018年8月にイタリアのコムネ・ディ・バッサーノ・デル・グラッパ、9月にフランスのラ・ブリケトリー・ヴァル・ド・マルヌ国立振付開発センターでアーティスト・イン・レジデンスを継続して実施します。

## 公開プログラム

2018年2月27日(火) 18:30-20:00 無料

イタリア文化会館 東京都千代田区九段南 2-1-30

本事業に参加する3人の振付家が過去に発表した代表作を紹介し、また日本での滞在成果を振り返るトークを行います。

申込方法: メールまたは電話でお申込みください。

Email: Kiseki2018@saison.or.jp TEL: 03-5624-5951 (森下スタジオ受付:10:00-21:00)

※メールでの申込みの際には件名を「2月27日公開プログラム申込み」とし、本文に①お名前②職業③参加人数④連絡先⑤このイベントをどのように知ったかをご記入ください。

主催: 公益財団法人セゾン文化財団 共催: イタリア文化会館 協力: 横浜赤レンガ倉庫1号館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

助成: 平成29年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」

国際提携機関: コムネ・ディ・バッサーノ・デル・グラッパ [イタリア]、ラ・ブリケトリー・ヴァル・ド・マルヌ国立振付開発センター [フランス]

ヴァル・ド・マルヌ現代美術館 [フランス]

Kiseki - Trajectories is a dance exchange program between The Saison Foundation (Japan), Comune di Bassano del Grappa (Italy), La Briqueterie - Centre de développement chorégraphique national du Val-de-Marne (France).

Giorgia Nardin from Italy and Satchie Noro from France comes to visit Japan in February 2018. They will work together with Teita Iwabuchi from Japan.

The program continues and each organisation host residency programs, in Italy in August and in France in September 2018.

## Public Program

27 February, 2018 18:30-20:00 free of charge

Istituto Italiano di Cultura 2-1-30, Kudan Minami, Chiyoda-ku Tokyo

Three choreographers will have a talk to introduce their past works and discuss about the residency's experiences.

Please send an email to the address below with the following information:

Email: Kiseki2018@saison.or.jp

\*Subject title: 27 February Public Program

(1) Your name (2) Occupation (3) Total number of persons who you plan to bring along including yourself (4) Your contact information (5) How you learned about this program

## 参加アーティスト



photo: Sakiko Nomura

### 岩淵貞太 [日本]

振付家、ダンサー。玉川大学で演劇を専攻、並行して、日本舞踊と舞踏も学ぶ。ダンサーとして、ニポール・伊藤キム・山田うん等の作品に参加。2007年より2015年まで、故・室伏鴻の舞踏公演に出演、今日に及ぶ深い影響を受ける。

2005年より、「身体の構造」「空間と音楽と身体の相互作用」に着目した作品を創り始める。2010年から、大谷能生や蓮沼執太などの音楽家と共に、身体と音楽の関係性をめぐる共同作業を公演。2012年、横浜ダンスコレクション EX2012にて、『Hetero』（共同振付：関かおり）が在日フランス大使館賞受賞。

自身のメソッドとして、舞踏や武術をベースに日本人の身体と感性を生かし、生物学・脳科学等からインスパイアされた表現方法論「網状身体」を開発。

急な坂スタジオ・レジデントアーティスト。2017年度・公益財団法人セゾン文化財団シニア・フェロー。



photo: Alice Brazziti

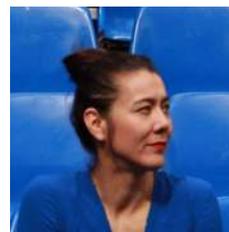
### ジョルジャ・ナルディン [イタリア]

振付家、パフォーマー。英国のノーザン・スクール・オブ・コンテンポラリーダンスで身体動作学を専攻。セクシャル・マイノリティやジェンダーをテーマとする作品を創作する。

2010年から Francesca Foscari, Marco D'agostin と創作を始め、『Spick & Span』は Premio Scenario で特別賞を受賞。女性の身体に関する多数のアイコンにフォーカスした初のソロ作品『Dolly』（2012）はヨーロッパの劇場やフェスティバルで上演され、数多くの賞を受賞した。『All dressed up with nowhere to go』はダンスのネットワーク、Aerowaves の 2015 年のにノミネートされ、イタリア国内外で上演された。

最新作、『Minor Place』はシルヴィア・フェデーリチの著書、『キャリアと魔女 資本主義に抗する女性の身体』をもとに参加型のパフォーマンスを創作。現在、イタリア国内外で巡演されている。

2015年、ハンブルクの振付センター、K3のレジデンス・アーティスト。



### サチエ・ノロ [フランス]

振付家、サーカス・アーティスト。合気道の師範である父、野呂正道の道場での稽古を始まりとし、後に Wilfride Piollet の下でクラシック・バレエを習得する。

ベルリン・ドイツ・オペラに短期滞在し、オルタナティブ・シーンに影響を受け、振付家、パフォーマーとして活動を始める。帰国後、Andy Degroat, Shiro Daimon, Mié Coquempot の作品に出演。

2002年、サーカス学校、「Les Noctambules」で Michel Nowak と出会い、空中サーカスの技術を学ぶ。同年、自身のダンスカンパニー、Furinkai を立ち上げる。2006年から建築を専門とする Silvain Ohl とコラボレーションを始め、代表作、『Origami』（2014）を創作。ヨーロッパやチリで巡演されている。

また、Adrien M & Claire B, Carlotta Sagna, James Thierré, Michel Schweizer, Mohamed Al Khatib, Pierre Meunier and Marguerithe Bordat 等のダンサーやサーカス・アーティストとのコラボレーションも多い。

## 国際提携機関

### コムーネ・ディ・ハッサーノ・デル・グラッパ [イタリア]

イタリアのヴェネト州にある基礎自治体の一つで、その文化局はヴェネト地方の文化やパフォーミング・アーツの振興の中心的な役割を担っている。

毎年、夏にオペラや演劇、ダンス、音楽作品を上演するフェスティバル「Operaestate Festival」を約3ヶ月間、開催。European Dancehouse Network (EDN)、Aerowaves のメンバーで、ダンスハウス、「Centro per la Scena Contemporanea」を拠点に、ヨーロッパ各国との共同プロジェクトを数多く実施している。

また、「Operaestate Festival」の一環として、現代演劇とコンテンポラリーダンスに焦点を当てたフェスティバル「B Motion」を開催し、若手からベテランまでヨーロッパを中心に活躍する旬のアーティストの作品を上演している。



Bassano del Grappa

### ラ・ブリケトリ・ヴァル・ド・マルヌ国立振付開発センター [フランス]

パリ郊外のヴァル・ド・マルヌの国立振付開発センターで、煉瓦工場をリノベーションして 2013 年にオープンした建物を拠点としている。

振付作品の普及や芸術家育成をミッションとし、コンテンポラリーダンス作品の共同製作、スタジオやレジデンシーの運営、ピエンナーレ形式のフェスティバルの開催等、多様な事業を展開している。

IETM や Aerowaves のメンバーで、ヨーロッパ有数の劇場やダンスハウスとの共同プロジェクトを多数展開。また、美術館との交流プロジェクトも多く、同地区のヴァル・ド・マルヌ現代美術館(MACVAL)と提携し、ジャンルを超えたプロジェクトや公演も手掛けている。

la briqueterie

centre de développement chorégraphique du val-de-marne

### 公開プログラム イタリア文化会館へのアクセス

- ◆地下鉄「九段下」駅下車（出口2）徒歩約10分。
- ◆駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮ください。



イタリア文化会館  
Istituto Italiano di Cultura  
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30  
2-1-30, Kudan Minami, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0074  
<http://www.iictokyo.esteri.it>